

第5学年〇組 外国語活動指導案

1. 単元名

「クイズ大会をしよう」

HRT

GT

2. 単元設定の理由

- 本学級の児童は、5年生の1学期に12時間の外国語活動を行ってきた。そのうち6時間がGTとの授業であった。年間を通して、英語ノート1を使って外国語活動を進める計画である。

第1単元「世界のこんにちはを知ろう」では、世界の国々の挨拶を聞いたり、言ったりしている。また、名刺を作り友だちと挨拶し合っ、コミュニケーションを楽しむ活動を行ってきた。

第2単元「ジェスチャーをしよう」では、感情や様子を表す英語表現を聞いたり、その表現やジェスチャーを使って、自分の感情を伝えたり、相手の様子を聞いたりして、多くの友だちとコミュニケーションを図る活動を行ってきた。

第3単元「数で遊ぼう」では、1～20の数を取り上げ、数を使った歌やゲームを通して、その英語表現に親しんできている。また、「数字ピラミッド・ゲーム」や「スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム」など様々なゲームを行い、友だちと活発にコミュニケーションを図る活動を行ってきた。

第4単元「自己紹介をしよう」では、自分の名前と自分の好きなものについて自己紹介する活動を行ってきた。食べ物、飲み物、動物、スポーツなどの中から好きなものを友だちに伝えたり、友だちから聞いたりしてきている。

単元が進むごとに、色々な友だちと話すことに慣れ、コミュニケーションを図る範囲も広がってきている児童が多いが、英語表現で相手と話すことに不安を感じ、英語でコミュニケーションを図ることに抵抗がある児童もいる。

そこで、本単元では、児童が興味をもちやすい「クイズ」という形式を取り入れ、「クイズ」を作る、解く活動を通して、自分から伝えたいという思いを強く持ち、コミュニケーションを図ろうという意欲を高めるようにしたい。

- 本単元では、“What’s this?”と問うクイズを作り、英語表現を使ってクイズ大会をすることで、積極的に担任やGT、友だちと関わろうとすることを目標としている。「シルエット・クイズ」や「ブラック・ボックス・クイズ」などは、視覚や聴覚などの情報がヒントとなるため、児童は“What’s this?”と言うだけでよいので、表現するときの負担があまりかからない。また、クイズを作ったり、出し合ったりすることで、英語表現を使ってコミュニケーションを図る楽しさを多く感じることもできると考える。

- 指導にあたっては、まず、“What’s this?”を使う場面として、「ピクチャー・クイズ」や「ブラック・ボックス・クイズ」などを取り上げる。単元の学習の最後に、グループで考えたクイズを出し合うクイズ大会を行うことを知らせ、自分たちが実際にクイズをする時の手がかりとなるようないろいろなクイズを体験させる。第1・2時で、他の国と日本の国の文化を比較できるような内容や身近なことでも新たな発見があるような内容のクイズを体験させることで、自分たちもクイズを作ったり、答えたりしたいという意欲をもたせたい。第3時では、グループでクイズを見直すことで友だちと関わる機会を増やし、友だち同士で互いに教え合い励まし合えるようにしたい。第4時のクイズ大会では、他のクラスの友だちとクイズを出し合うことで、相手意識をもたせ、楽しいクイズ大会にしたいという思いを単元の最後まで持続させたい。また、一人ひとりの児童が、英語表現を使ったクイズを作ったり、クイズを解いたりすることができたという達成感を味わえるようにしたい。

3. 目標

- 積極的にGTや友だちと関わり、クイズを作ったり、“What’s this?”と質問したり、答えたりする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- “What’s this?”と尋ねたり、ヒントをもらったりする時の英語表現を使って、クイズをする。(外国語への慣れ親しみ)
- GTや担任、友だちの出すクイズを通して、他の国の文化や自分たちの身の回りの物に対して、新たな興味をもつ。(言語や文化に関する気付き)

4. 単元構成の考え方

英語ノートの単元構成は、初めに、自分たちでクイズを解く活動から入り、最後には、自分たちで問題を考え、クイズ大会を行うという流れになっている。クイズ形式にすることで、子どもたちの知的好奇心を刺激しながら、“What’s this?”という英語表現に繰り返し触れさせることが出来るという良さがある。また、クイズを解いているうちに、「自分たちも表現する側になりたい」という意欲を高めることができるという良さがある。

そこで、「出会う段階」では、他の国に関するクイズを取り上げることで、外国の文化をより身近に感じ、「他の国のことをもっと知りたい」という意欲につなげたい。また、単元の最後に他のクラスとクイズ大会をすることを知らせることで、相手意識と目的意識をはっきりもち、本単元のめあてをつかむことができるようにしたい。

「関わる段階」では、第4時のクイズ大会で使えるように、多様な内容や方法のクイズを体験させる。そのことで、自分が出したいクイズの内容や方法を見つけることができるようにする。さらに、クイズを作る、解く活動を通して、学級の友だちと関わる楽しさを味わうことが出来るようにする。

「表現する段階」では、さらにコミュニケーションの対象を他の学級へと広げ、クイズ大会を行う。クイズ大会では、自分の考えたクイズを相手に楽しんでもらったり、アイデアの良さを認めてもらったりすることで、達成感や満足感を味わわせたい。

5. 単元構成・評価規準（全4時間 ○は本時）

段階	時	ねらい	評価の観点			活動／評価規準	表現例
			コ	慣	言		
出会う	1	GTの出すクイズを通して、他の国の文化や自分たちの身の回りの物に、新たな興味をもつ。			◎	活動名「ピクチャー・クイズ」 「漢字クイズ」 評価規準 クイズを通して、日本と他の国との文化を比べながら違いに気づいている。	What's this? It's ~. Hint, please. Sorry. Try gain.
	2	“What's this?” “Hint, please.” “That's right.” などの英語表現を使って、クイズをする。			◎	活動名「ブラック・ボックス・クイズ」 「シルエット・クイズ」 「ジェスチャー・クイズ」 評価規準 クイズをよく聞いて、答えようとしている。	What's this? It's ~. Hint, please. Sorry. Try gain. That's right.
	③	積極的に友だちと関わり、作ったクイズを、クラスの友だちとよりよいクイズになるように工夫する。			◎	活動名「より楽しいクイズを作ろう」 評価規準 友だちと協力して、クイズを見直している。	What's this? It's ~. Hint, please. Sorry. Try gain. Close. That's a good idea.
表現する	4	積極的に友だちと関わり、「クイズ大会」をする。			◎	活動名「クイズ大会をしよう」 評価規準 自分たちの作ったクイズやクイズの答えを相手に伝えようとしている。	What's this? It's ~. Hint, please. Sorry. Try gain. That's right.

5 学年「What's this? クイズ大会をしよう」

単元の評価規準

<p>単元目標</p>	<p>1. 積極的に GT や友だちと関わり、クイズを作ったり、クイズを出し合ったりする。</p> <p>2. “What's this?” と尋ねたり、ヒントをもらったりする時の英語表現を使って、クイズをする。</p> <p>3. GT や担任、友だちの出すクイズを通して、他の国の文化や自分たちの身の回りの物に対して、新たな興味を持つ。</p>		
<p>評価規準</p>	<p>○ GT や友だちに “What's this?” と質問したり、答えたりしながら積極的に関わろうとしている。</p> <p>○ “What's this?” “Hint ,please.” “That's right.” などの英語表現を使って、互いに尋ねたり答えたりしながらクイズをしている。</p> <p>○ GT や担任、友だちの出すクイズを通して、他の国の文化や自分たちの身の回りの物に対して、新たな興味をもっている。</p>		
<p>観点</p>	<p>評価場面と方法</p>	<p>おおむね満足な姿</p>	<p>おおむね満足する姿に達しない場合の考えられる支援</p>
<p>コミュニケーションへの関心・意欲・態度</p>	<p>【第3時】 友だちと一緒にクイズを見直している場面 (行動観察) (発表観察) (振り返りカード点検)</p>	<p>○ 友だちと協力して、クイズを見直している。 ・「もっとよいクイズにするために、グループの友だちと相談しよう。」</p>	<p>○ クイズを見直していない。 ・改善点を見つけようとしていない。 ※周囲にいる児童に誘うように声かけをする。</p>
	<p>【第4時】 クイズ大会をしている場面 (行動観察) (発表観察) (作品観察) (振り返りカード点検)</p>	<p>○ 自分たちの作ったクイズやクイズの答えを相手に伝えようとしている。 ・問題を出したり、答えたりすることを楽しんでいる。</p>	<p>○ クイズに参加していない。 ・友だち任せになっている。 ※ヒントの出し方や尋ね方をアドバイスする。</p>
<p>外国語への慣れ親しみ</p>	<p>【第2時】 担任の出すクイズを聞いて、答えている場面 (行動観察) (振り返りカード点検)</p>	<p>○ クイズをよく聞いて、答えようとしている。 ・“What's this?” “Hint ,please.” をみんなと一緒に使ってクイズに参加している。</p>	<p>○ 一人では聞き取れず、まねをしようとしていない。 ・みんなが英語で言っているのに、一緒に言おうとしていない。 ※横に寄り添って一緒に言う。友だちと一緒に言うように声かけをする。</p>
<p>言語や文化に関する気付き</p>	<p>【第1時】 GT や担任の出すクイズをしている場面 (行動観察) (振り返りカード点検)</p>	<p>○ クイズを通して、日本と他の国の文化を比べながら聞き、気がついたことを発言したり、自己評価カードに書いたりしている。 ・「○○が日本とアメリカとは違うとは思わなかった。」</p>	<p>○ クイズの中に出てくる日本と他の国の文化の違いに興味を示していない。 ・クイズに正解するかどうかだけ気にしている。 ※近くに寄り添い、文化の違いに気づくように声かけをし、興味を抱かせる。</p>

6. 本時

平成23年10月17日（月） 5校時 体育館

7. 本時の目標

- 積極的に担任や友だちと関わり、自分たちのクイズを見直す。

8. 本時指導の考え方

- 本時は、内容や方法を自分で考えて作ったクイズを友だちに出したり、友だちのクイズを解いたりする活動を通して、クラスの友だちと積極的に関わることをねらいとしている。児童は、前時までに体験した「ピクチャー・クイズ」「漢字クイズ」「シルエット・クイズ」「ブラック・ボックス・クイズ」「ジェスチャー・クイズ」などを参考にしてクイズを作っているところである。グループごとにクイズを出し合い、アドバイスをもらいより楽しいクイズになるように工夫させる。英語での言い方が分からないときのために、英語絵辞典などを用意しておく。

また、本番のクイズ大会は、他のクラスと行うことを確認し、相手意識を明確にすることで、次時への意欲へとつなげたい。

このように、クイズを見直す活動を通して、友だちと積極的にコミュニケーションを図る楽しさを味わわせたい。

9. 本時の展開

過程	児童の活動	教師の支援（担任・G T）	教材・評価場面
あいさつ (2)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
復習 (3)	2 ALT と簡単な会話をする。 ○ “What’ s this?” を使ったクイズをする。	○ クイズに使う英語表現を確認させる。	☆ピクチャーカード
めあて確認 (4)	3 めあてを確かめる。	Today’ s aim is this. <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">グループの友だちと協力して、より楽しいクイズになるように工夫しよう。</div>	
コミュニケーション 活動 (30)	4 班ごとにクイズを出し合う。 (1) 活動の流れを確かめる。 (2) 班で練習をする。 (3) 前半にクイズを出すグループと後半にクイズを出すグループに分かれる。 (4) 各班をまわり、クイズを解く。 (5) クイズにアドバイスをする。	○ グループを回り、児童がクイズを考えている様子をよく観察して、工夫している点をほめる。 ○ 友だちとの関わりの良いところを児童に伝える。 ・役割分担をしている。 ・グループ内でアドバイスをし合っている。	☆漢字カード ☆ピクチャーカード ☆ブラックボックス

	(6) 前半と後半の役割を交代する。 5 アドバイスをもとにクイズを見直す。 見直す視点 ・ 他の班のまねしたいところ。 ・ 自分の班でうまく伝わらなかったところ。	○ やってみての感想や友だちからのアドバイスを持ち寄り、より楽しいクイズになるように工夫させる。 分かりやすい・楽しい	【友だちと一緒にクイズを見直している場面】 ○ 友だちと協力して、クイズを見直している。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
振り返り (5)	6 振り返りカードに記入し、感想を交流する。 ・ 友だちと協力して、クイズを見直しましたか。 ・ 他のクラスとのクイズ大会が楽しみになりましたか。		☆振り返りカード
あいさつ (1)	7 あいさつをする。 Thank you.	That' s all for today.	

● 本時活動の詳細

○ 進め方

① 活動の流れを確認する。

- ・ 活動の前半にクイズを出す班と、後半にクイズを出す班に分かれる。
- ・ クイズを出す班は、自分の場所に来た班にクイズを出す。
- ・ 答える班は、各班を回ってクイズに答える。
- ・ クイズのよかったところをほめ、工夫するとよいところをアドバイスをする。

② 練習をする。

- ・ それぞれの班のクイズの種類に応じて、問題の出し方の練習をする。

③ 各グループを回り、クイズを解く。

- ・ 他の班の場所に行き、班で協力しながら出されるクイズに答える。

④ 前半と後半の役割を交代する。

○ 準備



各グループのクイズカード・タイマー・英語絵辞典

● クイズの進め方の会話例 (ピクチャー・クイズ)

出題者	What' s this?	解答者	Hint , please.
出題者	1st hint. This is a fruit. What' s this?	解答者	It' s a banana !
出題者	Sorry. Try again.	解答者	Hint , please.
出題者	2nd hint. This is red. What' s this?	解答者	It' s a strawberry !
出題者	Sorry. Try again.	解答者	Hint , please.
出題者	3rd hint. Look. What' s this?	解答者	It' s an apple !
出題者	That' s right ! !		

外国語活動 ふり返しカード「クイズ大会をしよう」

5年 組 ()

第一時 月 日 ()	①クイズの中で新しく知ったことやおもしろいなど思ったことがありましたか。				
	②自分もクイズを作って、友だちに出してみたいくなりましたか。				
第二時 月 日 ()	①先生の出すクイズよく聞いて、答えようとしたか。				
	②クイズに出してみたい内容や方法が見つかりましたか。				
第三時 月 日 ()	①友だちと協力して、クイズを見直しましたか。				
	②となりのクラスとのクイズ大会が楽しみになりましたか。				
第四時 月 日 ()	①自分たちの作ったクイズや友だちの作ったクイズの答えを相手に伝えようとしたか。				
	②積極的に友だちと関わって、クイズ大会を楽しみましたか。				
単元をふり返って、学んだことや気づいたことを書きましょう。					

資料

○ 第1時目標 (1/4)

- ・ GTの出すクイズを通して、他の国の文化や自分たちの身の回りの物に、新たな興味を持つ。

○ 展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・GT)	教材・評価場面
あいさつ (2)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォーム アップ (3)	2 チャンツ ○ “What’s this?” をリズム に合わせて言う。	○ クイズに使う表現が取り入れ られたチャンツを言わせる。	☆CD
めあて 確認 (4)	3 めあてを確かめる。	Today’s aim is this.	
クイズを解いて、アメリカの文化や自分たちの身の回りの物に 興味を持とう。			
ディスカッション 活動 (30)	4 クイズに答える。 (1) 部分絵カードや水族館の絵 を見て、質問に答える。 (2) 漢字を見て、それが水族館 のどの生き物かを考え、読み 方を推測する。 5 GTが出すクイズに答える。	○ 部分絵カードを見せ、それが 何かを尋ねる。 ○ 水族館の絵について質問す る。 ○ 漢字カードを見せ、それを何 と読むか尋ねる。 ○ GTは、主にアメリカに関す るクイズを出す。	☆ブラックボックス ☆ピクチャーカード 【クイズに答え ている場面】 ○ クイズを通 して、日本と他の 国の文化を比べ ながら違いに気 づいている。(言 語や文化に関す る気づき)
振り返り (5)	6 振り返りカードに記入し、感 想を交流する。		☆振り返りカード
<ul style="list-style-type: none"> ・ クイズの中で、新しく知ったことやおもしろいと思ったことがありま したか。 ・ 自分もクイズを作って、友だちに出してみたくありませんか。 			
あいさつ (1)	7 あいさつをする。 Thank you.	That’s all for today. You are welcome.	

○ 第2時目標 (2/4)

- ・ “What’s this?” “Hint, please.” “That’s right.” などの英語表現を使って、クイズをする。

○ 展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・G T)	教材・評価場面
あいさつ (2)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォーム アップ (3)	2 チャンツ ○ “What’s this?” をリズム に合わせて言う。	○ クイズに使う表現が取り入れ られたチャンツを言わせる。	☆CD
めあて 確認 (4)	3 めあてを確かめる。	Today’s aim is this.	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> “What’s this?” というクイズを楽しみ、自分たちでクイズを 作ろう。 </div>			
コミュニケーション 活動 (30)	4 クイズに答える。 (1) 担任が出すクイズに答える。 ・「シルエット・クイズ」 ・「ブラック・ボックス・クイズ」 ・「ピクチャー・クイズ」 ・「漢字クイズ」 「ジェスチャー・クイズ」 (2) 班ごとに出したいクイズを 考え、作る。	○ クイズをすることを告げる。 ○ 班ごとにクイズを作ることを 告げる。	☆ブラックボックス ☆ピクチャーカード <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 【担任の出すクイズを聞いて、答えている場面】 ○ 担任の出すクイズをよく聞いたり答えたりしている。(外国語への慣れ親しみ) </div>
振り返り (5)	5 振り返りカードに記入し、感想を交流する。		☆振り返りカード
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担任の出すクイズをよく聞いて、答えようと思いましたか。 ・ クイズに出してみたい内容や方法が見つかりましたか。 </div>			
あいさつ (1)	7 あいさつをする。 Thank you.	That’s all for today. You are welcome.	

○ 第4時目標（4／4）

- ・ 積極的に友だちと関わり、「クイズ大会」をする。

○ 展開

過程	児童の活動	教師の支援（担任・G T）	教材・評価場面
あいさつ (2)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォーム アップ (3)	2 チャンツ ○ “What’ s this?” をリズム に合わせて言う。	○ クイズに使う表現が取り入れ られたチャンツを言わせる。	☆CD
めあて 確認 (4)	3 めあてを確かめる。	Today’ s aim is this.	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> グループの友だちと協力して楽しくクイズ大会をしよう。 </div>			
コミュニケーション 活動 (30)	4 クイズ大会をする。 (1) 各クラスが作ったクイズを 前半・後半に分かれて出し合 う。 ・「シルエット・クイズ」 ・「ブラック・ボックス・クイズ」 ・「ピクチャー・クイズ」 ・「漢字クイズ」 ・「ジェスチャー・クイズ」 (2) 記録用紙の点数を合計して、 点数を確認する。	○ クイズ大会をすることを告げ る。 ○ クイズをしたら、記録用紙に 点数を書いてもらう。	☆ブラックボックス ☆ピクチャーカード ☆漢字カード <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>【クイズ大会を している場面】 ○ 自分たちの 作ったクイズや クイズの答えを 相手に伝えよう としている。(コ ミュニケーショ ンへの関心・意 欲・態度)</p> </div>
振り返り (5)	5 振り返りカードに記入し、感 想を交流する。		☆振り返りカード
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの作ったクイズや友だちの作ったクイズの答えを相手に伝えようとしている。 ・ 積極的に友だちと関わって、クイズ大会を楽しみましたか。 </div>			
あいさつ (1)	7 あいさつをする。 Thank you.	That’ s all for today. You are welcome.	